



今月号の
テーマ

文部科学大臣メッセージ ～子供たちのための学校の働き方改革 できることを直ちに、一緒に～

報告!

☆ 教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）

令和5年8月28日に中央教育審議会「質の高い教師の確保特別部会」より、社会問題化している教員の長時間勤務を是正するため、直ちにに取り組むべき施策をまとめた緊急提言が文科大臣に提出されました。

教師を取り巻く環境整備
について緊急的に取り組む
べき施策(提言)
(R5.08.28)はこちら⇒



文部科学大臣
メッセージ
(R5.08.29)
はこちら⇒



緊急提言を踏まえた
取組の徹底等について
(R5.09.08)
はこちら⇒



要点

- 「教育は人なり」と言われるように、学校教育の成否は教師にかかっている。
教師は子供たちの成長を直接感じることができる素晴らしい職業。
- 我が国の学校教育の成果は高い専門性と使命感を有する教師の献身的な取組によるもの。
- 教師の時間外在校等時間は一定程度改善したが、依然として、長時間勤務の教師が多い状況であり、持続可能な教育環境の構築に向けて、教育に関わる全ての者の総力を結集して取り組む必要。
- 改革の目指すべき方向性は、**教師のこれまでの働き方を見直し、子供たちに対してより良い教育を行うことができるようにすること。**
教師が教職生涯を通じて新しい知識・技能等を学び続け、質の高い教職員集団を実現していくことは、我が国の学校教育の充実にとって極めて重要。



特別部会 からの提言

取組の具体策(緊急的に取り組むべき施策)

1. 学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進
2. 学校における働き方改革の実効性の向上等
3. 持続可能な勤務環境整備等の支援の充実

たとえ子供たちのためであっても、教員の業務量を
超えている今の状況を問題視



具体例として示されたもの（各学校で、直ちに取り組むべきこと）

(1)「学校・教師が担う業務に係る3分類」を徹底するための取組

児童生徒の登校可能時間
や完全下校時間を明確に
するなど、学校としての
工夫・改善も有効

学校運営協議会や
地域学校協働活動を
活用した地域の理解促進を

基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
<p>①登下校に関する対応</p> <p>②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応</p> <p>③学校徴収金の徴収・管理</p> <p>④地域ボランティアとの連絡調整</p> <p>※ その業務の内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。</p>	<p>⑤調査・統計等への回答等（事務職員等）</p> <p>⑥児童生徒の休み時間における対応（輪番、地域ボランティア等）</p> <p>⑦校内清掃（輪番、地域ボランティア等）</p> <p>⑧部活動（部活動指導員等）</p> <p>部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。</p>	<p>⑨給食時の対応（学級担任と栄養教諭等との連携等）</p> <p>⑩授業準備（補助的業務へのサポートスタッフの参画等）</p> <p>⑪学習評価や成績処理（補助的業務へのサポートスタッフの参画等）</p> <p>⑫学校行事の準備・運営（事務職員等との連携、一部外部委託等）</p> <p>⑬進路指導（事務職員や外部人材との連携・協力等）</p> <p>⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応（専門スタッフとの連携・協力等）</p>

教員が一番
力を入れたいところ。
だからこそ、業務の
優先順位や適正化を

関係機関との
連携強化が効果的

短時間でも効果的な活動、科学的な
トレーニングや休養日の設定など

(2) 各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直し

- ・全ての学校で**授業時数について点検**し、特に、標準授業時数を大幅に上回って(年間1,086単位時間以上)いる学校は、見直すことを前提に点検を行い、**指導体制に見合った計画に見直し**
- ・**学校行事の精選・重点化**、準備の簡素化・省力化

(3) ICTの活用による校務効率化の推進

- ・学校保護者間の**連絡手段のデジタル化**などICTの更なる活用

これからの方向性

- 慣習や固定観念、同調性にとらわれることなく、思考しながら、大胆に「**スクラップ**」。
- 子供たちの多様化・複雑化や保護者・地域の学校に対する期待の高まりに対し、「**学校の役割**」を**明確化**し、保護者等に理解促進に努める。
- 教職員自らが働き方を見つめ直すとともに、**人間性や創造性の向上**に努める。*(自身の健康や家族との時間こそが大事です!)*

学校長のリーダーシップ、教職員のプロジェクトチームなど
学校が主体的にできることを実践してください。

先生方の健康と子供たちに良い教育が行えるようにするため、次号では、取組好事例と第2回働き方改革推進チーム会議の様子を紹介します！